

あけましておめでとーうございませう!

秋葉公園

新潟薬科大学



本年から新津駅が発着駅となるSL-C57

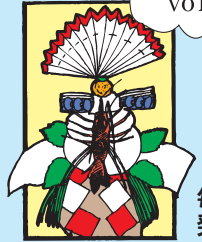
新津まつり

アザレア

にいつホサト ステーション

2018. 1

vol. 802



毎月1回
発行

発行所 / 新潟商工会議所
編集発行人 / 田村 一夫

〒956-0864
新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email: n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/

今月号の紙面

- ・役員・議員・振興委員
- ・紙上名刺交換
- ・各種団体
- ・新春賀詞交歓会案内



新年のご挨拶

新潟商工会議所会頭

古川 賢一

明けましておめでとーうございませう。昨年中は会員ならびに関係各機関・団体、地域の皆様方から、一方ならぬご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

の商工会議所が、時代を超えて受け継がれてきた会議所の使命に沿って活動を続けております。

昨年の内外の経済情勢を振り返りますと、世界全体では堅調な展開を続け、我が国においても戦後2番目に長い景気回復の途を辿る中、株価も堅調な様相を呈しました。一方で、民間投資・消費動向ともにやや力強さを欠く展開となったほか、都会と地方、大企業と中小零細企業間の格差の解消は依然課題として残りました。

当会議所は、昭和25年1月に県下7番目の商工会議所として誕生しました。爾来70年近くにはわたり、企業・地域の潤滑油や触媒となり様々な事業活動の一つ一つに誠実に取り組んできたものと自負しているところでです。

足下の新潟地域の状況についても一部を除いては弱含みの状況が常態化しており、当会議所の調査でも、一般的な業況をはじめ売上高や採算などが回復途上のうえ人手不足が経営上の隘路となっているという事例が多くみられました。

近年では、「会員企業の発展」と「地域の活性化」の二つを最重要の柱に据え、経営指導員を中心に会員各企業それぞれのニーズに合わせた伴走型の支援を指向する中、金融税務等の各種相談事業の推進に一層の力を注ぐなど、会員の満足度向上の助けとなるよう役職員一同総力を挙げております。

こうした中で昨年後半には衆院総選挙が行われ、これまでの政権が一定の信任を得ることとなりました。各企業においては、需要の掘り起こしや新しい市場の開拓など個々の自助努力が前提になるとはいえ、政権には引き続き地方や中小零細企業が経済の回復を真に実感できるような経済の舵取りを強く願う次第です。

また、地域経済全体のポトムアップを図るための「地域の活性化」の観点からは、会員、地域の声に耳を傾け、会議所の重要な活動の一つである政策提言を随時行っていくことのほか、鉄道・花・里山・大学・伝統行事・各種イベント等の地域の魅力が最大限発揮されるよう支援・協力を行い、地域を盛り上げていく取り組みにも積極的に関わっております。

さて、わが国の商工会議所の始まりは、およそ一世紀半前、明治11年の「東京商法会議所」の設立に求められます。その後、主要な産業都市に相次いで設立されていきますが、現在の商工会議所は、昭和28年に制定された「商工会議所法」を拠り所に運営されております。

当会議所は、これからも企業や地域から信頼され期待される存在となるべく、新しい年も二つの大きな柱を念頭に置きながら愚直に事業活動を進めてまいります。一方で新たな取り組みにも知恵を絞ってまいります。このほか、当会議所自身としては、財政基盤の確立に向けて稼ぐ力をつけること、会員数の増加を図ること、さらに職員個人と全体のレベル向上などに努めてまいります。

「会議所法」の中では、会議所の役割について、「その地区内における商工業の総合的な改善発展を図り、兼ねて社会福祉の増進に資することを目的とする」とうたわれており、昨年末現在では、全国で515、県内では16

結びに、会員の皆様方、地域の皆様方のご隆盛とご多幸をお祈りいたしまして新年のご挨拶と致します。